

社会福祉法人恩賜財団 済生会熊本病院

SAISEIKAI KUMAMOTO HOSPITAL



救急総合診療と日本有数の症例数 独自の研修システムで実りある研修を

臨床研修プログラムの目的と特徴

高度先進医療まで学べる環境 プライマリ・ケアから

臨床研修の基本理念に基づき到達目標を達成するプロセスの中で、プライマリ・ケアに対応できる基本知識や技能の習得を目指しています。高度な医療を提供する病院の特徴を活かし、各診療科でプライマリ・ケアから高度先進医療まで学ぶことができる環境です。済生会熊本病院を中心として、協力型臨床研修病院及び施設と臨床研修病院群を形成し、地域医療や当院にない診療科も含めて研修できる教育体制を構築しています。当院ではAコース、Bコースの2つのプログラムを設けており、Aコース、Bコース共に1年目は院内で研修を行います。そのうち、内科6か月研修は、内科系診療科より3診療科を選択し、それぞれ2か月間ローテーションします。必修の救急3か月研修は、1年目に2か月、経験を積んだ2年目に1か月研修を行い合計3か月間とします。選択研修は到達目標を達成するために複数科を選択し、原則1診療科で1〜3か月間研修をします。2年目については、Aコースは主に当院での研修、Bコースは地域の連携病院での研修が中心になります。ローテーションスケジュールは個人のニーズに合わせて調整できます。

アピールポイント

専門性に基づく高度な医療の提供

当院は、「医療を通じて地域社会に貢献します」という理念のもと、「救急医療」「高度医療」「地域医療と予防医学」「医療人の育成」の4つの基本方針のもとに診療を行っています。救急医療については、救急総合診療センターで24時間迅速な対応ができる専門医療体制を整備しています。救急総合診療センターでは、救急と総合診療が一体化し、様々な種類・レベルの診療に携わります。また、「専門性に基づく高度な医療の提供」を目的とした臓器別センター制を取り入れ、外科系医師と内科系医師が連携しながら患者さんにとって最良の医療を提供しています。

臨床研修プログラム

■初期臨床研修 週間スケジュール(例)

1年次:診療科目/消化器内科

曜日	月	火	水	木	金
午前	腹部エコー	上部消化管内視鏡	救急外来	病棟	上部消化管内視鏡
午後	救急外来	病棟	ERCP	下部消化管内視鏡	血管造影

■初期臨床研修 年間スケジュール

1年次

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
分野	内科						救急		外科			選択科
場所	済生会熊本病院											

2年次(Aコース)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
分野	救急	地域医療	精神科	小児科	産婦人科	選択科						
場所	済生会熊本病院	協力型病院・協力施設					済生会熊本病院					

2年次(Bコース)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
分野	救急	精神科	地域医療			小児科	産婦人科	選択科				
場所	済生会熊本病院			協力型病院				済生会熊本病院・協力型病院				

[指導医からのメッセージ] The message from an advising doctor



済生会熊本病院
救急総合
診療センター
主任医員
高木 誠
Makoto Takaki

当院は全国的にみて救急搬送数が多い施設です。救急外来で初期診療を行い、重篤な患者さんや、問題が多岐にわたる患者さんの入院管理まで行うことができます。具体的には、多発外傷、敗血症性ショック、多臓器不全といった重症疾患を担当するほか、まれな病態に遭遇する機会もあります。救急患者のファーストタッチを担当し、重症度の把握、身体診察、鑑別診断、検査計画をスピーディーにおこない、診断、専門診療科へのコンサルテーション、入院の必要性の判断、家族説明までの一連の流れを指導医とともに行うことで、救急初期診療についての力を養えます。同時に集中治療管理、原因不明疾患の鑑別能力も育ちます。常に考えて行動することが望まれるため、研修医の主体性を重視しています。2年間はあっという間です。たくさん症例をみて経験を積むことができる当院での研修を、是非検討ください。

MESSAGE 先輩研修医からのメッセージ

救急センターで
 貴重な経験を積む日々。
 病院全体で温かく
 研修医を育ててくれます。

研修1年目 **川内 健太郎**
 KENTARO KAWACHI



再生医療に興味を持ち、医師を志しました。若いうちにERでたくさんの経験を積み、治療の引き出しを増やすことが大事だと思い、全国有数の救急病院である当院を見学。医師だけでなくコ・メディカルや事務の方までみんな優しく居心地良い雰囲気に惹かれて、研修先として希望しました。

当院は救急外来から入院する患者さんが多く、症例の数も幅広さは十分すぎる程です。ERの当直と専門科の救急担当とが回ってくるため、救急のファーストタッチから専門科搬送後の治療までしっかり学ぶ事ができます。研修医が少なめなので、いつも1対1で濃い指導を受けられるのも大きな魅力です。

救急で命も危うかった患者様が回復されると、日常生活に戻る手助けができ達成感を得られます。一方で、どうしても助けられなかったり、社会復帰が叶わない方も。患者様やご家族の気持ちを把握しながら、どこを治療のゴールにするか、悩ましい場面も多いです。先輩方のインフォームド・コンセントに学びながら、考える毎日です。

スピード感ある毎日ですが、消化不良になるほどではなく、学会などアカデミックな活動に費やせる時間も多です。また、当院は総合病院ではないため、2年目は協力病院で研修する機会も多くあります。いろんな病院で地域医療や慢性期医療などを幅広く経験できることは、将来にとっても役立つことと思います。当院は看護師や薬剤師、技師や病棟栄養士などコ・メディカルのスキルもとても高く、栄養管理やエコーの当方、画像の撮影方法や上手な見方などを教えてもらえる場面も多いです。何より気さくで明るく接してくれ、朗らかな雰囲気にいつも助けられています。院内のスタッフ全員で研修医を育ててくれる当院で、一緒に楽しい研修医生活を送りましょう！

診療科一覧

- ・外科センター
- ・消化器病センター
- ・心臓血管センター
- ・救急総合診療センター
- ・呼吸器センター
- ・腫瘍・糖尿病センター
- ・脳卒中センター
- ・四肢外傷センター
- ・腎・泌尿器センター
- ・外来がん治療センター (トモセラピー、PET/CT)
- ・予防医療センター

研修・認定施設一覧

- ・日本内科学会認定医制度教育病院
- ・日本消化器病学会認定医制度認定施設
- ・日本消化器内視鏡学会認定指導施設
- ・日本肝臓学会認定施設
- ・日本呼吸器学会認定施設
- ・日本呼吸器内視鏡学会認定施設
- ・日本神経学会専門医制度教育施設
- ・日本脳卒中学会認定研修教育病院
- ・日本救急医学会救急科専門医指定施設
- ・日本外傷学会専門医研修施設
- ・日本麻酔科学会認定病院
- ・日本集中治療医学会専門医研修施設
- ・日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
- ・日本心血管インターベンション治療学会研修施設
- ・日本がん治療認定医機構認定研修施設
- ・日本臨床腫瘍学会認定研修施設
- ・日本糖尿病学会認定教育施設
- ・日本感染症学会研修施設
- ・日本腎臓学会研修施設
- ・日本透析医学会認定医制度認定施設
- ・日本超音波医学会認定超音波専門医研修施設
- ・日本病理学会病理専門医研修認定施設B
- ・日本臨床細胞学会認定施設
- ・日本外科学会外科専門医制度修練施設(指定施設)
- ・日本心臓血管麻酔学会心臓血管麻酔専門医認定施設
- ・日本消化器外科学会専門医制度指定修練施設
- ・3学会構成心臓血管外科専門医認定修練施設(基幹施設)
- ・腹部大動脈瘤ステントグラフト実施施設

- ・胸部大動脈瘤ステントグラフト実施施設
- ・下肢静脈瘤血管内焼灼術実施施設
- ・日本呼吸器外科学会呼吸器外科専門医認定修練施設基幹施設
- ・日本Pediatric Interventional Cardiology学会心房中隔欠損閉鎖栓(Amplatzer Septal Occluder:ASO)使用認定施設
- ・日本脳神経外科学会認定専門医研修プログラム(熊本大学を基幹施設とする)研修施設
- ・日本脳神経外科学会認定専門医研修プログラム(徳島大学を基幹施設とする)関連施設
- ・日本整形外科学会専門医制度研修病院
- ・日本泌尿器科学会泌尿器科専門医教育施設 基幹教育施設
- ・日本アフェリシス学会認定施設
- ・日本乳癌学会認定医・専門医制度関連施設
- ・日本医学放射線学会放射線科専門医総合修練機関
- ・日本インターベンショナルラジオロジー学会専門医修練施設
- ・日本不整脈学会・日本心電学会認定不整脈専門医研修施設
- ・日本脈管学会認定研修関連施設
- ・日本高気圧環境・潜水医学会認定病院
- ・日本胆道学会認定指導医制度指導施設
- ・日本肝胆膵外科学会認定肝胆膵外科高度技能専門医修練施設B
- ・日本内分泌・甲状腺外科専門医制度認定施設 他

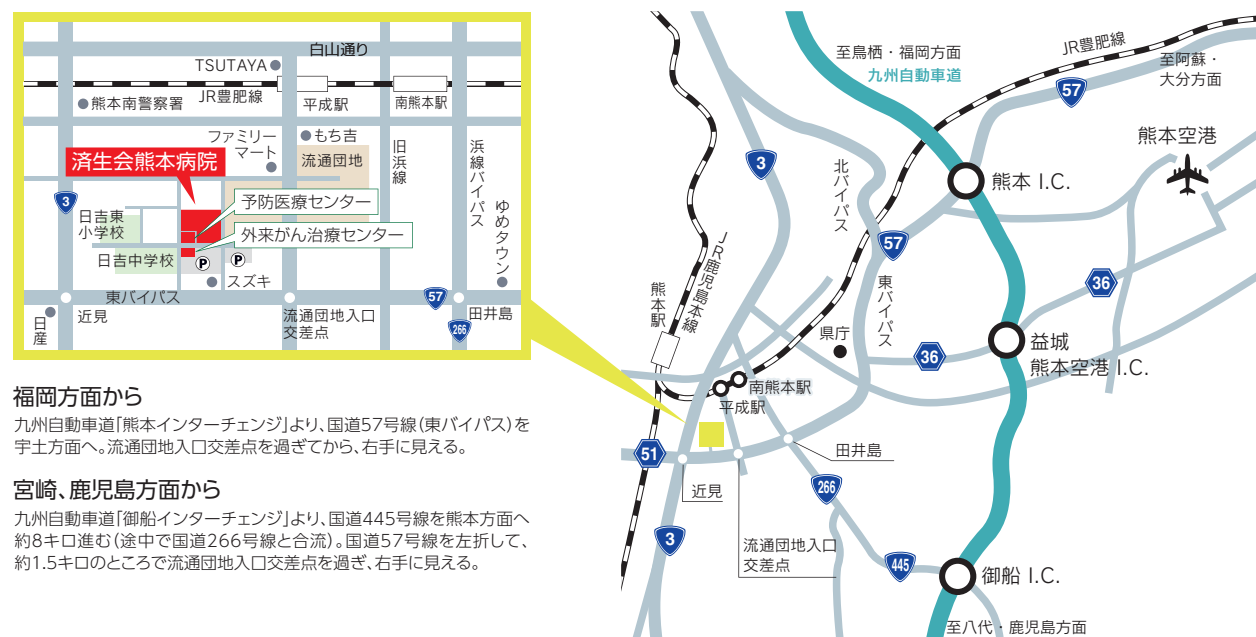
1日平均外来患者数 / 503.8人 (平成28年度実績)
 1日平均入院患者数 / 379.7人 (平成28年度実績)
 年間手術件数 / 5,765件 (平成28年度実績)

所在地	〒861-4193 熊本市南区近見5丁目3番1号
開設者	社会福祉法人恩賜財団 済生会
開設年月日	昭和10年9月16日
院長名	中尾 浩一(なかお こういち)
病床数	400床
標榜科	内科、外科、消化器内科、消化器外科、整形外科、呼吸器内科、呼吸器外科、腫瘍内科、糖尿病内科、泌尿器科、腎臓内科、心臓血管外科、循環器内科、脳神経外科、神経内科、放射線科、麻酔科、救急科、病理診断科
医師数	186名
指導医数	90名
研修医数	初期研修医21名
専門医	内科25名、外科22名、消化器内科18名、整形外科5名、呼吸器内科9名、呼吸器外科2名、腫瘍2名、糖尿病科2名、腎臓科3名、泌尿器科7名、心臓血管外科4名、循環器内科20名、集中治療8名、脳神経外科7名、神経内科5名、放射線科10名、麻酔科10名、救急科11名、病理診断科1名 <small>※主要学会ごと病院全体延べ人数</small>
認定医	内科48名、麻酔科1名、総合診療科(プライマリ・ケア)7名 <small>※専門医取得者は除く</small> <small>※主要学会ごと病院全体延べ人数</small>

募集資格	①医師臨床研修マッチングプログラム参加者 ②第113回医師国家試験を受験予定の方。又は、 医師免許取得者で卒業臨床研修を未実施の方
応募締切	当院のホームページをご覧ください
選考期日	平成30年8月頃 ※決定次第ホームページに掲載します
試験内容	面接試験
給料	1年次 月額 / 300,000円 2年次 月額 / 310,000円
諸手当	当直代、準夜手当支給有
年次有給休暇	有(初年度10日(入職から3か月後経過後)、次年度11日)
宿舍	有(単身用・世帯用、駐車場付、費用一部自己負担)
加入する保険等	健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険
医師賠償責任保険	病院加入有、個人加入任意(個人負担)
当直回数	4回 / 月程度

所在地	〒861-4193 熊本市南区近見5丁目3番1号
担当者	●臨床研修プログラムに関すること 済生会熊本病院 / 人材開発室 TEL:096-351-8515 ●採用に関すること 済生会熊本病院 / 人事室 TEL:096-351-8074
E-mail	saiyou@saiseikaikumamoto.jp
URL	http://www.sk-kumamoto.jp

ACCESS



福岡方面から
 九州自動車道「熊本インターチェンジ」より、国道57号線(東バイパス)を宇土方面へ。流通団地入口交差点を過ぎてから、右手に見える。

宮崎、鹿児島方面から
 九州自動車道「御船インターチェンジ」より、国道445号線を熊本方面へ約8キロ進む(途中で国道266号線と合流)。国道57号線を左折して、約1.5キロのところで流通団地入口交差点を過ぎ、右手に見える。